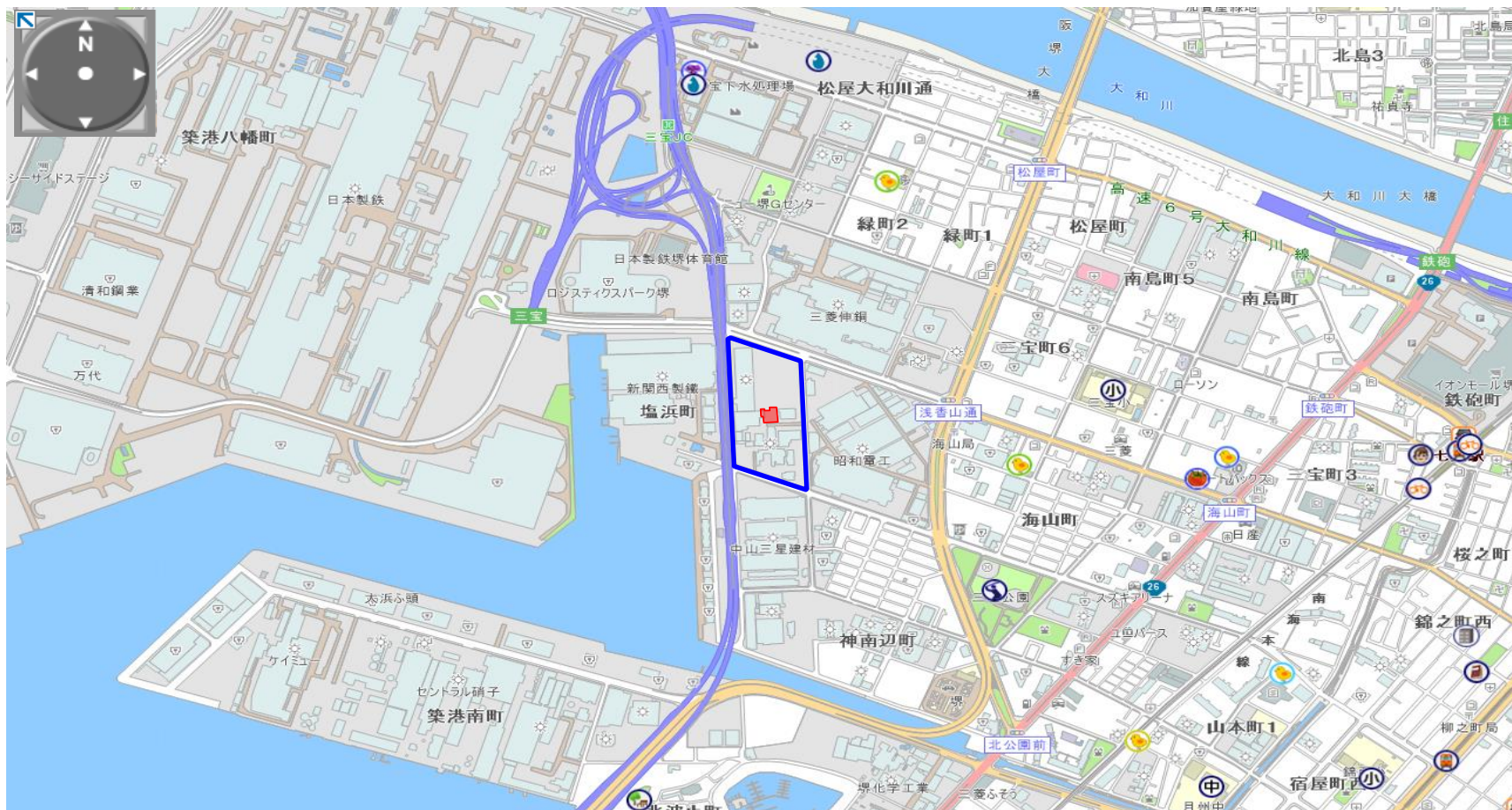


整理番号	①3-4 ②5-2	指定年月日・指定番号	令和3年10月29日 法指-67	所在地	堺市堺区海山町7丁227番及び231番2の各々の一部	
調製・訂正年月日	①令和3年10月29日調製、②令和5年5月12日(指定の一部追加)					
形質変更時要届出区域の概況	工場			面積	①1,669.4㎡ ②1,806.2㎡	
法第14条第3項の規定に基づき指定された形質変更時要届出区域にあつては、その旨						
最大形質変更深さより1メートルを超える深さの位置について試料採取等の対象としなかつた土壤汚染状況調査の結果により指定された形質変更時要届出区域にあつては、その旨、当該試料採取等の対象としなかつた深さの位置及び特定有害物質の種類						
土壤汚染のおそれの把握等、試料採取等を行う区画の選定等又は試料採取等を省略した土壤汚染状況調査の結果により指定された形質変更時要届出区域にあつては、その旨及び当該省略の理由	①土地所有者の意向により、30m格子内の汚染範囲確定のための試料採取等が省略された部分があることから、省略した区画及び溶出量基準を超過した区画については全て第二溶出量基準超過とみなす。					
汚染の除去等の措置が講じられた形質変更時要届出区域にあつては、その旨及び当該汚染の除去等の措置						
第58条第5項第10号から第13号までに該当する区域にあつては、その旨						
形質変更時要届出区域内の土壤の汚染状態	報告受理年月日	指定に係る特定有害物質の種類	適合しない基準項目		指定調査機関の名称	
	令和3年9月17日	ふっ素及びその化合物	含有量基準・溶出量基準・ 第二溶出量基準		日本環境分析センター株式会社	
	令和5年3月8日	ふっ素及びその化合物	含有量基準・ 溶出量基準 ・第二溶出量基準		日本環境分析センター株式会社	
			含有量基準・溶出量基準・第二溶出量基準			
			含有量基準・溶出量基準・第二溶出量基準			
土地の形質の変更の実施状況	届出(着手)時期	完了時期	土地の形質の変更の種類	実施者	土壤搬出	汚染土壤の処理方法
	令和3年11月4日	令和4年10月15日	建屋建設に伴う既存杭撤去、杭打設、掘削、地下構造物の構築、埋め戻し等	日鉄エンジニアリング株式会社	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無	浄化(抽出-洗浄処理)、異物除去、含水率調整
					有・無	
					有・無	


備考1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

2 「形質変更時要届出区域内の土壤の汚染状態」については、土壤その他の試料の採取を行った日、当該試料の測定の結果等を記載した書類を添付すること。

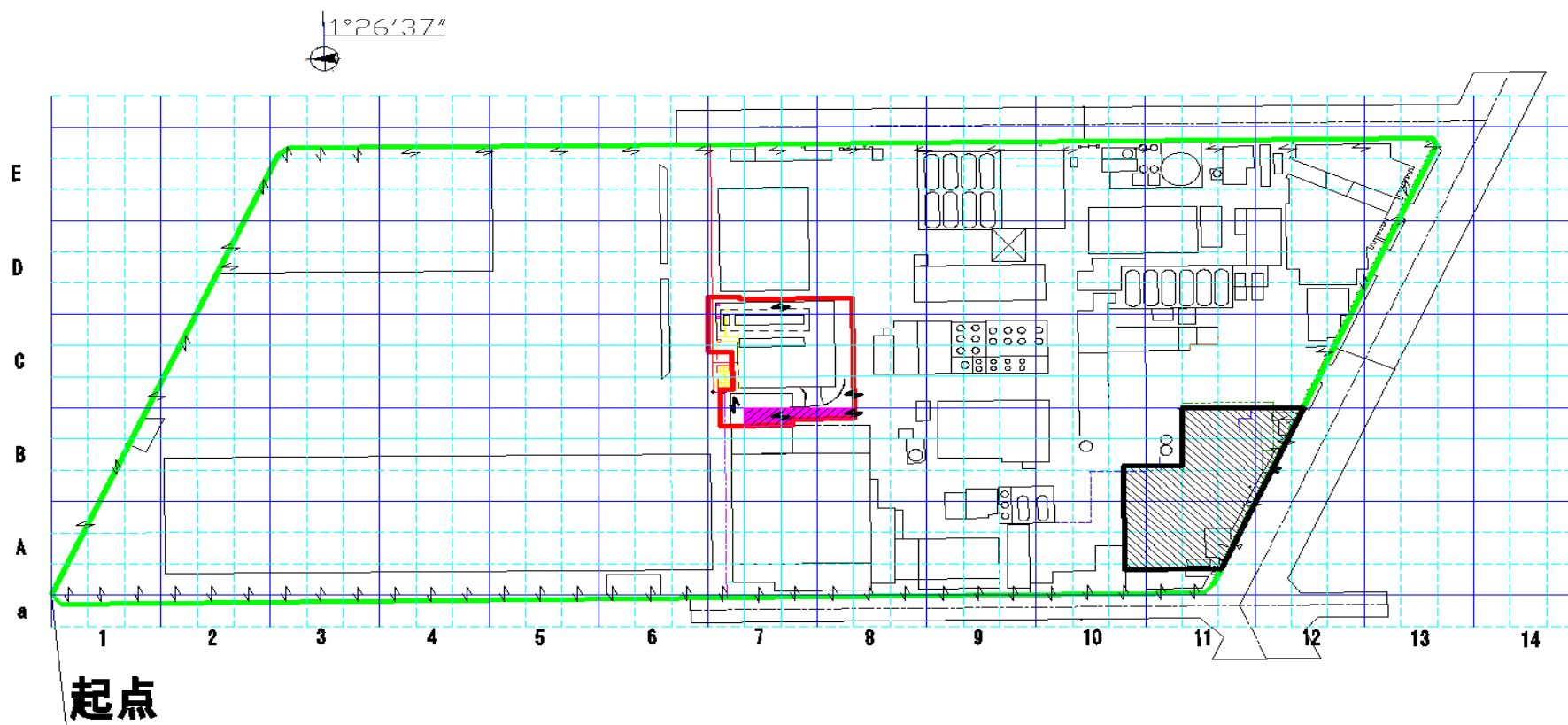
位置図



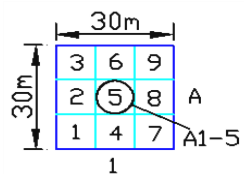
 敷地範囲


 土壌調査実施範囲


形質変更時要届出区域を示す図面



【凡例】





 30m格子 (900m²)


 単位区画 (100m²)

 統合

 敷地範囲

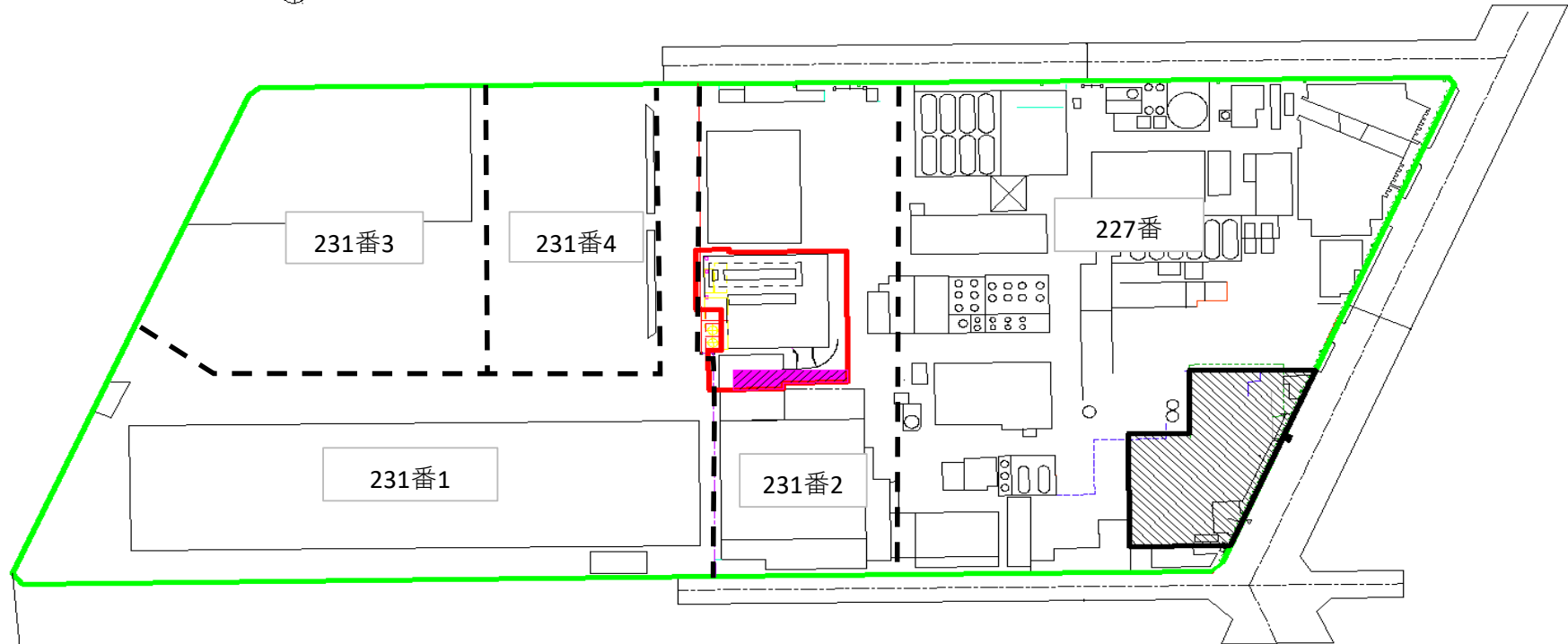
 土壌調査実施範囲

 形質変更時要届出区域
(今回指定範囲)

 形質変更時要届出区域
(令和3年10月29日 法指-67)

形質変更時要届出区域と地番の重ね図

1°26'37"



起点 X=-155754.229 Y=-49208.897

【凡例】



敷地範囲



土壌調査実施範囲



筆境界



形質変更時要届出区域
(今回指定範囲)

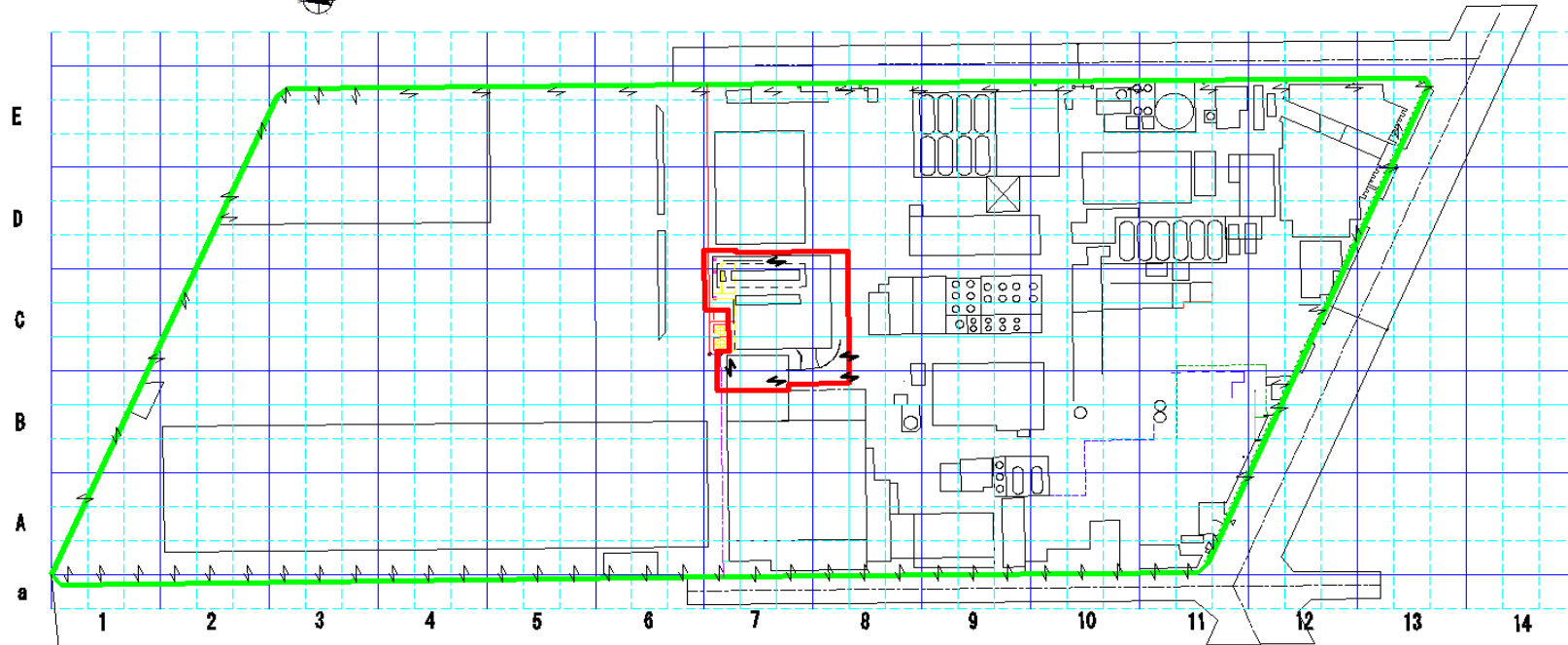
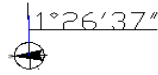


形質変更時要届出区域
(令和3年10月29日 法指-67)

区画統合図

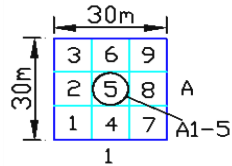
【格子の回転角度】

起点を支点として、東西方向及び南北方向に引いた線、並びにこれらと平行して10m間隔で引いた線を右回りに1° 26' 37"回転させて得られた線により、区画した。



起点 X=-155754.229 Y=-49208.897

【凡例】

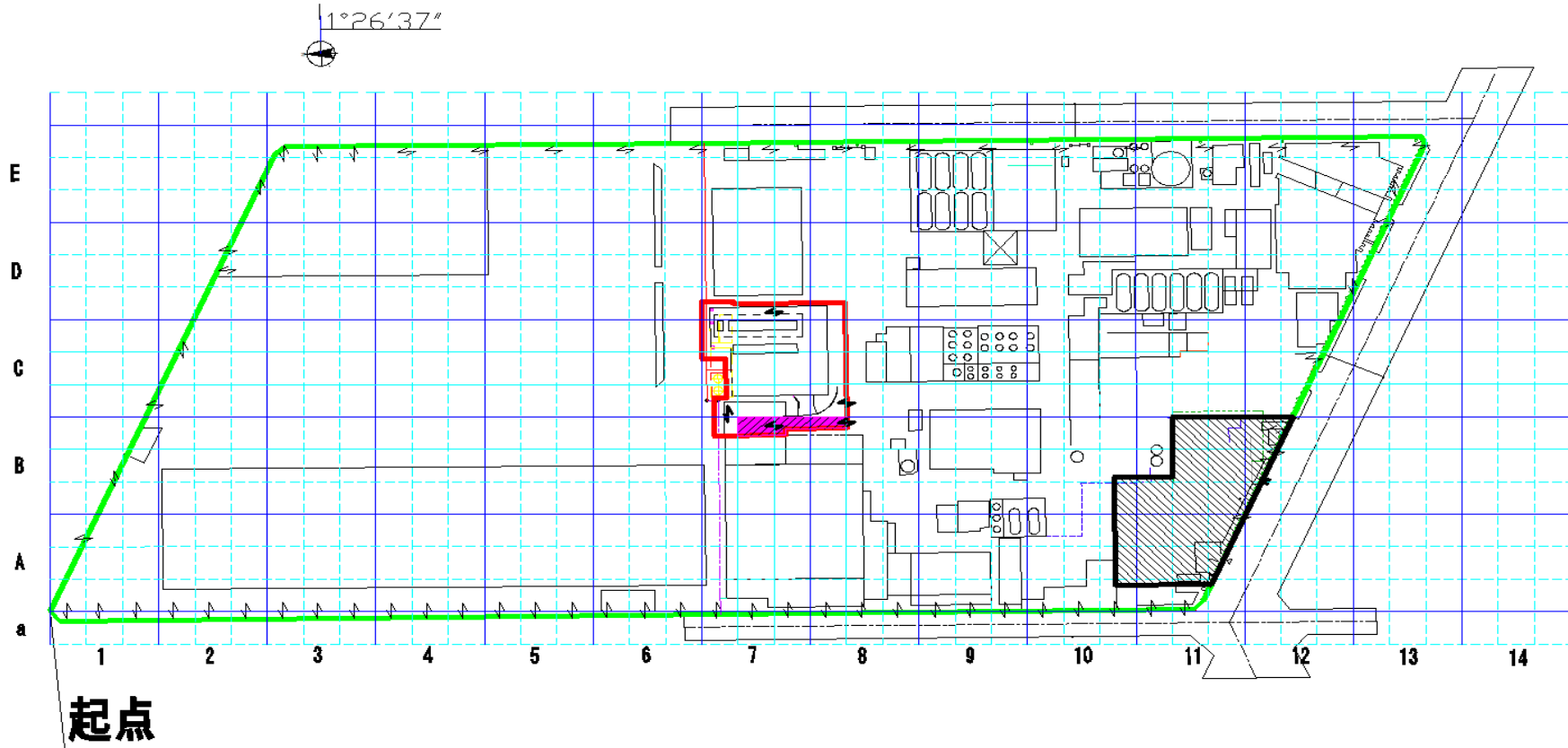


- 30m格子 (900m²)
- 単位区画 (100m²)

- 敷地範囲
- 土壌調査実施範囲

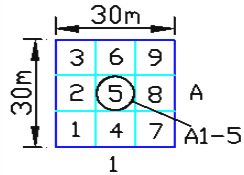
統合




フッ素及びその化合物 汚染状況







起点

【凡例】

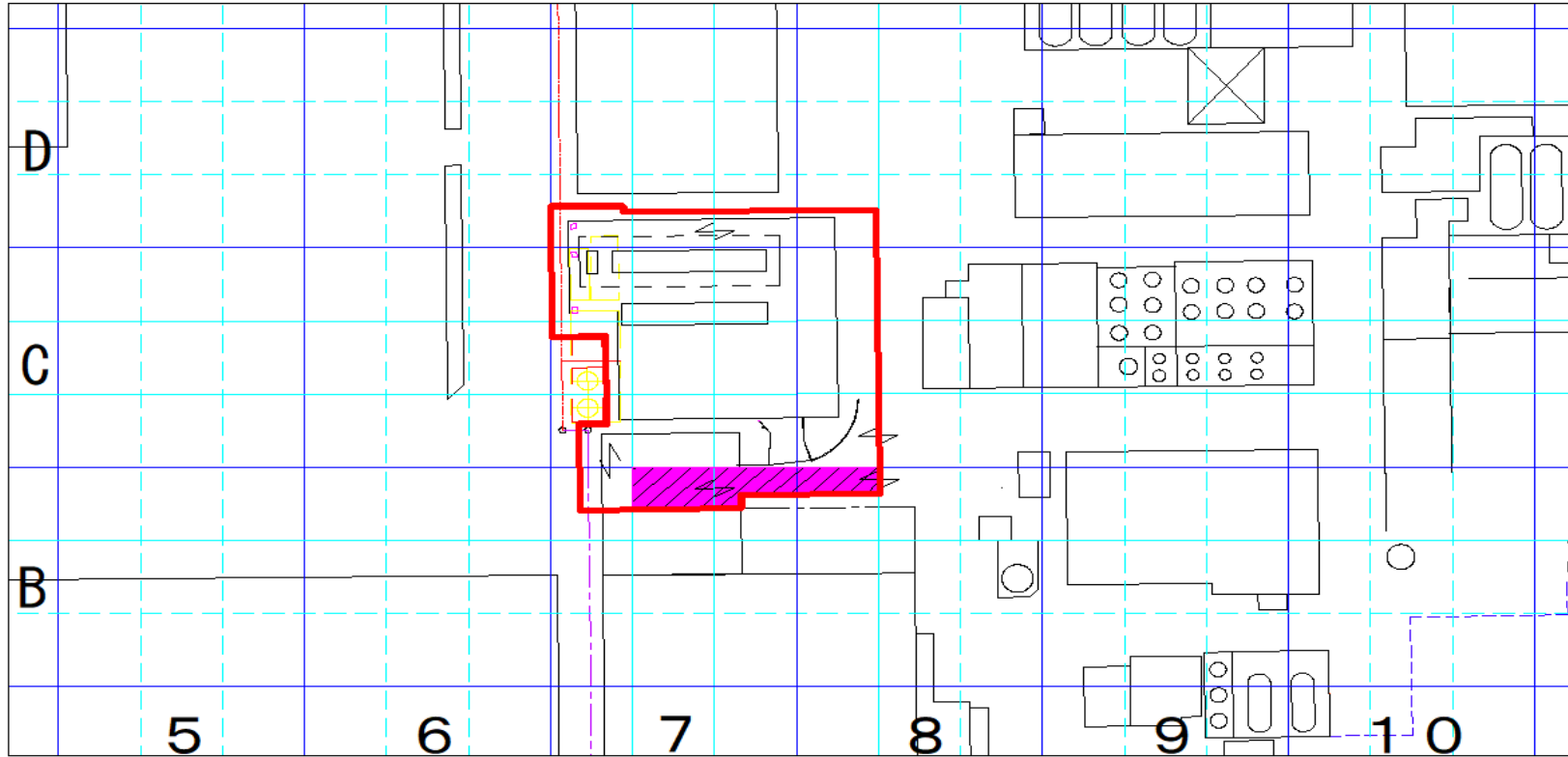


-  30m格子 (900m²)
-  単位区画 (100m²)
-  統合

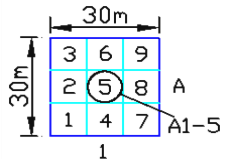
-  敷地範囲
-  土壌調査範囲
-  溶出量基準不適合範囲
(フッ素及びその化合物)
-  第二溶出量基準不適合範囲
(フッ素及びその化合物)

フッ素及びその化合物 溶出量基準超過区画

1°26'37"



【凡例】



30m格子 (900m²)

単位区画 (100m²)

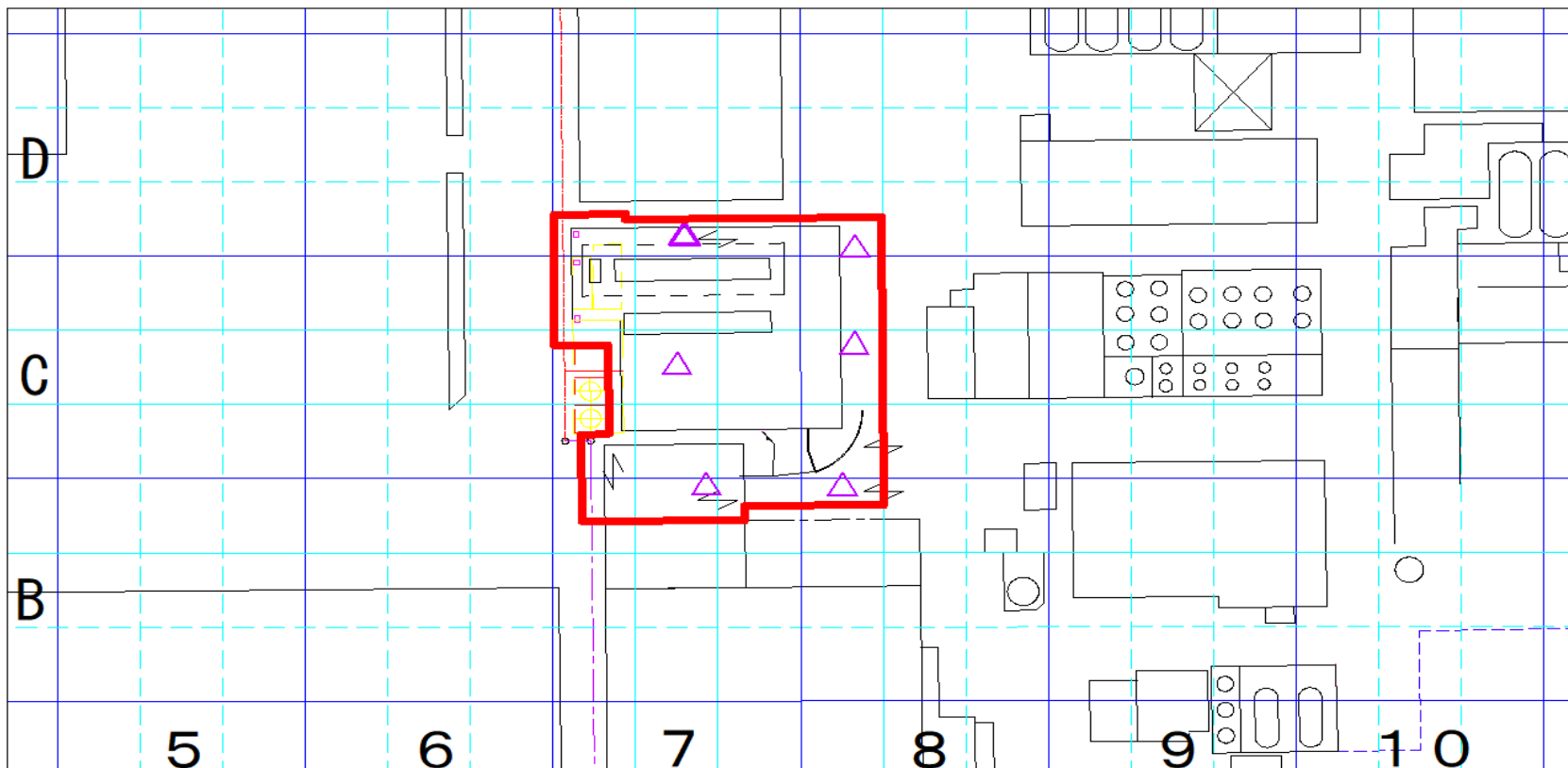
統合

土壤調査範囲

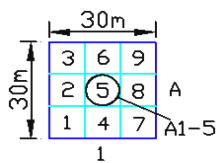
溶出量基準不適合範囲
(フッ素及びその化合物)

土壌ガス 試料地点地点図

1°26'37"

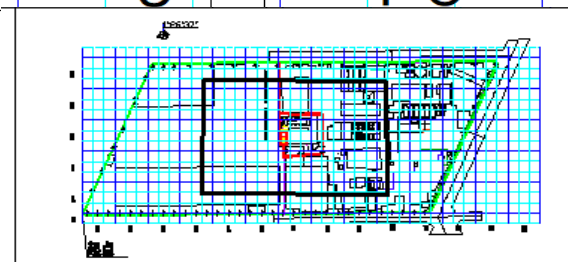


(凡例) 対象物質 : 第一種特定施設設置 ベンゼン



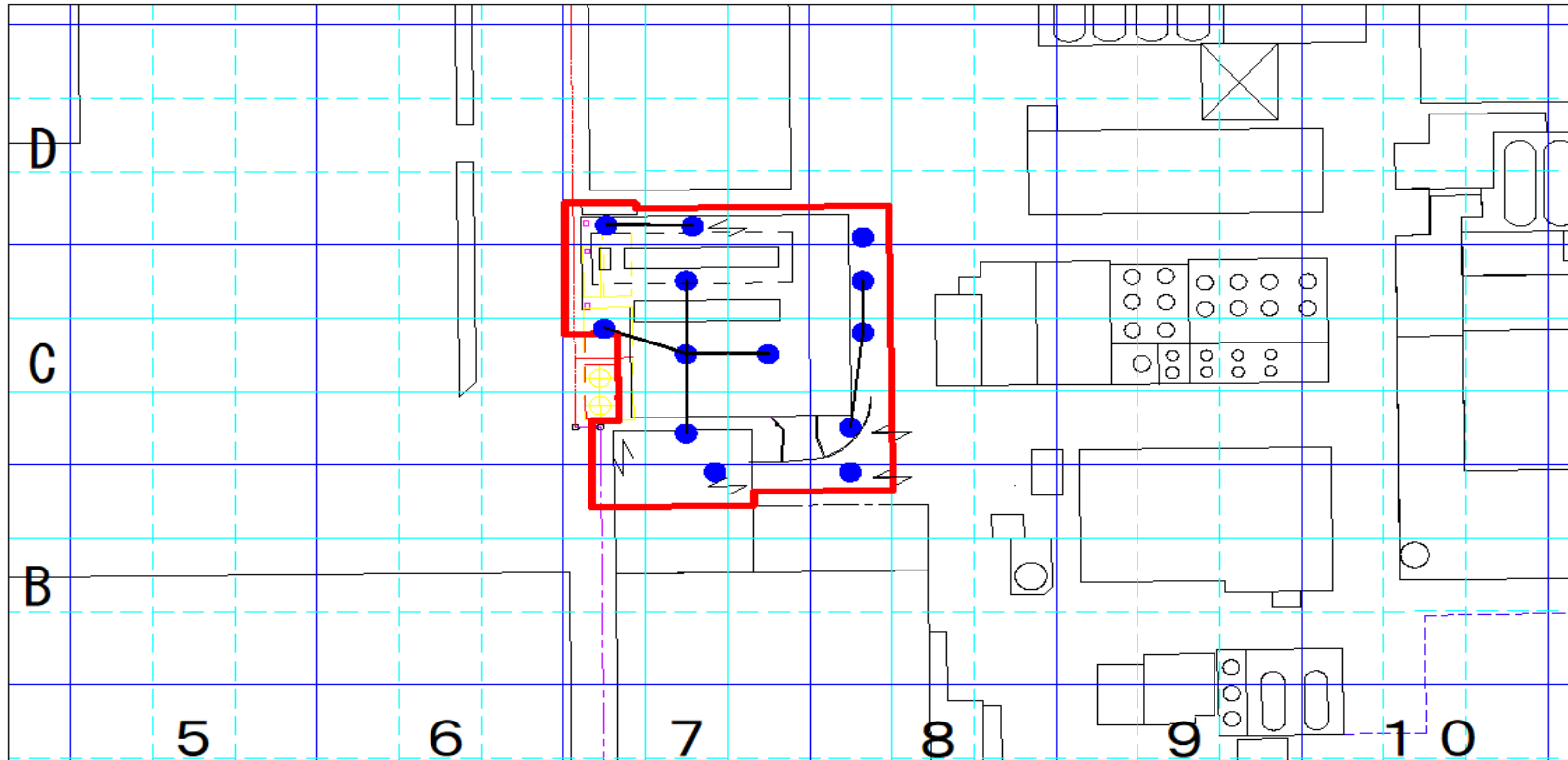
- 30m格子 (900m²)
- 単位区画 (100m²)
- 統合

- 土壌調査範囲
- 土壌ガス採取地点

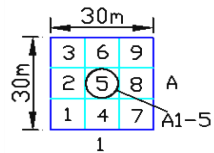


表層土壌 試料採取地点図

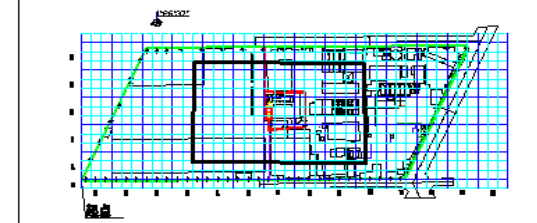
1°26'37"



(凡例) 対象物質 : 第二種特定有害物質
 カドミウム、六価クロム、水銀、セレン、砒素、鉛、フッ素、ホウ素
 第三種特定有害物質
 PCB



- 30m格子 (900m²)
- 単位区画 (100m²)
- 統合
- 土壌調査範囲
- 土壌採取地点
- 混合



土壌ガス分析

分類	項目	単位	30m格子						判定基準	定量 下限値
			B7	B8	C7	C8	D7	D8		
			調査地点							
			B7-6	B8-3	C7-5	C8-2	D7-4	D8-1		
第一種 特定有害物質	ベンゼン	vol ppm	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	検出されないこと	0.05

第二種及び第三種特定有害物質 土壌溶出量(おそれの生じた位置:現況地表面)

分類	項目	単位	調査地点名						基準値	定量 下限値	
			B7	B8	C7	C8	D7	D8			
			採取地点名								
			B7-6	B8-3	C7-2,C7-4, C7-5,C7-6, C7-8	C8-1,C8-2, C8-3	D7-1,D7-4	D8-1			
第二種 特定有害物質	カドミウム及びその化合物	mg/L	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.003 以下	0.001
	六価クロム化合物	mg/L	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.05 以下	0.01
	水銀及びその化合物	mg/L	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 以下	0.0005
	セレン及びその化合物	mg/L	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.01 以下	0.001
	砒素及びその化合物	mg/L	0.003	0.001 未満	0.002	0.002	0.002	0.001 未満	0.01 以下	0.01 以下	0.001
	鉛及びその化合物	mg/L	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.003	0.001 未満	0.01 以下	0.01 以下	0.001
	フッ素及びその化合物	mg/L	<u>2.5</u>	<u>1.3</u>	0.74	0.33	0.60	0.75	0.8 以下	0.1	
	ホウ素及びその化合物	mg/L	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	1 以下	1 以下	0.1
第三種 特定有害物質	ポリ塩化ビフェニル(PCB)	mg/L	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	検出されないこと	0.0005

斜線 : 基準値超過を示す。

第二種特定有害物質 土壌含有量(おそれの生じた位置:現況地表面)

分類	項目	単位	調査地点名						基準値	定量 下限値
			B7	B8	C7	C8	D7	D8		
			採取地点名							
			B7-6	B8-3	C7-2,C7-4, C7-5,C7-6, C7-8	C8-1,C8-2, C8-3	D7-1,D7-4	D8-1		
第二種 特定 有害 物質	カドミウム及びその化合物	mg/kg	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満	45 以下	1
	六価クロム化合物	mg/kg	20 未満	20 未満	20 未満	20 未満	20 未満	20 未満	250 以下	20
	水銀及びその化合物	mg/kg	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満	15 以下	1
	セレン及びその化合物	mg/kg	10 未満	10 未満	10 未満	10 未満	10 未満	10 未満	150 以下	10
	砒素及びその化合物	mg/kg	10 未満	10 未満	15	80	11	14	150 以下	10
	鉛及びその化合物	mg/kg	10 未満	10 未満	10 未満	10 未満	10 未満	10 未満	150 以下	10
	フッ素及びその化合物	mg/kg	3300	640	160	1700	80	120	4000 以下	50
	ホウ素及びその化合物	mg/kg	50 未満	50 未満	50 未満	50 未満	50 未満	50 未満	4000 以下	50

各区画の汚染状況一覧(おそれの生じた位置:現況地表面)

30m 格子	単位区画	面積 (㎡)	区画の 統合先	基準不適合 面積(㎡)	汚染物質	汚染状況の 区別	調査省略の 有無	みなし指定の 有無
B7	B7-3	37.9	C7-1	—	—	—	—	—
	B7-6	57.1	—	57.1	フッ素及びその化合物	溶出量超過	—	—
	B7-9	43.3	B7-6	43.3	フッ素及びその化合物	溶出量超過	—	—
B8	B8-3	36.2	—	36.2	フッ素及びその化合物	溶出量超過	—	—
	B8-6	0.2	B8-3	0.2	フッ素及びその化合物	溶出量超過	—	—
C7	C7-1	52.1	—	—	—	—	—	—
	C7-2	47.3	—	—	—	—	—	—
	C7-3	100.0	—	—	—	—	—	—
	C7-4	100.0	—	—	—	—	—	—
	C7-5	100.0	—	—	—	—	—	—
	C7-6	100.0	—	—	—	—	—	—
	C7-7	100.0	—	—	—	—	—	—
	C7-8	100.0	—	—	—	—	—	—
C8	C8-1	99.7	—	—	—	—	—	—
	C8-2	98.9	—	—	—	—	—	—
	C8-3	97.9	—	—	—	—	—	—
	C8-4	0.1	C8-1	—	—	—	—	—
D7	D7-1	54.2	—	—	—	—	—	—
	D7-4	50.0	—	—	—	—	—	—
	D7-7	49.2	D7-4	—	—	—	—	—
D8	D8-1	49.4	—	—	—	—	—	—
	合計	1473.5	—	136.8	—	—	—	—

<参考資料>

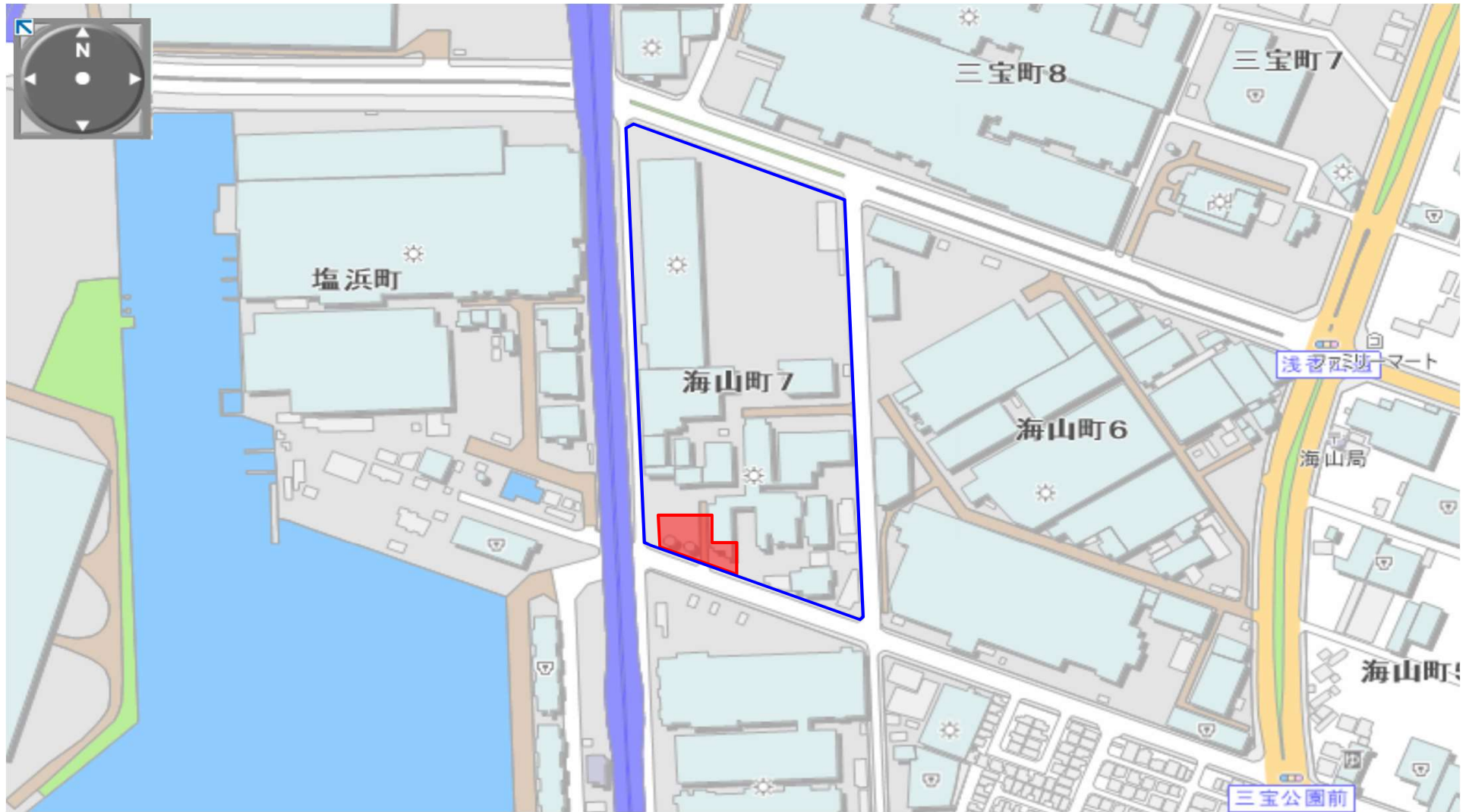
過去の区域指定台帳

整理番号	3-4	指定年月日・指定番号	令和3年10月29日 法指-67	所在地	堺市堺区海山町7丁227の一部	
調製・訂正年月日	令和3年10月29日調製					
形質変更時要届出区域の概況	工場			面積	1,669.4m ²	
法第14条第3項の規定に基づき指定された形質変更時要届出区域にあっては、その旨						
最大形質変更深さより1メートルを超える深さの位置について試料採取等の対象としなかった土壤汚染状況調査の結果により指定された形質変更時要届出区域にあっては、その旨、当該試料採取等の対象としなかった深さの位置及び特定有害物質の種類						
土壤汚染のおそれの把握等、試料採取等を行う区画の選定等又は試料採取等を省略した土壤汚染状況調査の結果により指定された形質変更時要届出区域にあっては、その旨及び当該省略の理由				土地所有者の意向により、30m格子内の汚染範囲確定のための試料採取等が省略された部分があることから、省略した区画及び溶出量基準を超過した区画については全て第二溶出量基準超過とみなす。		
汚染の除去等の措置が講じられた形質変更時要届出区域にあっては、その旨及び当該汚染の除去等の措置						
第58条第5項第10号から第13号までに該当する区域にあっては、その旨						
形質変更時要届出区域内の土壤の汚染状態	報告受理年月日	指定に係る特定有害物質の種類	適合しない基準項目		指定調査機関の名称	
	令和3年9月17日	ふっ素及びその化合物	含有量基準・溶出量基準・第二溶出量基準		日本環境分析センター株式会社	
			含有量基準・溶出量基準・第二溶出量基準			
			含有量基準・溶出量基準・第二溶出量基準			
			含有量基準・溶出量基準・第二溶出量基準			
土地の形質の変更の実施状況	届出(着手)時期	完了時期	土地の形質の変更の種類	実施者	土壤搬出	汚染土壤の処理方法
					有・無	
					有・無	
					有・無	


備考1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

2 「形質変更時要届出区域内の土壤の汚染状態」については、土壤その他の試料の採取を行った日、当該試料の測定の結果等を記載した書類を添付すること。

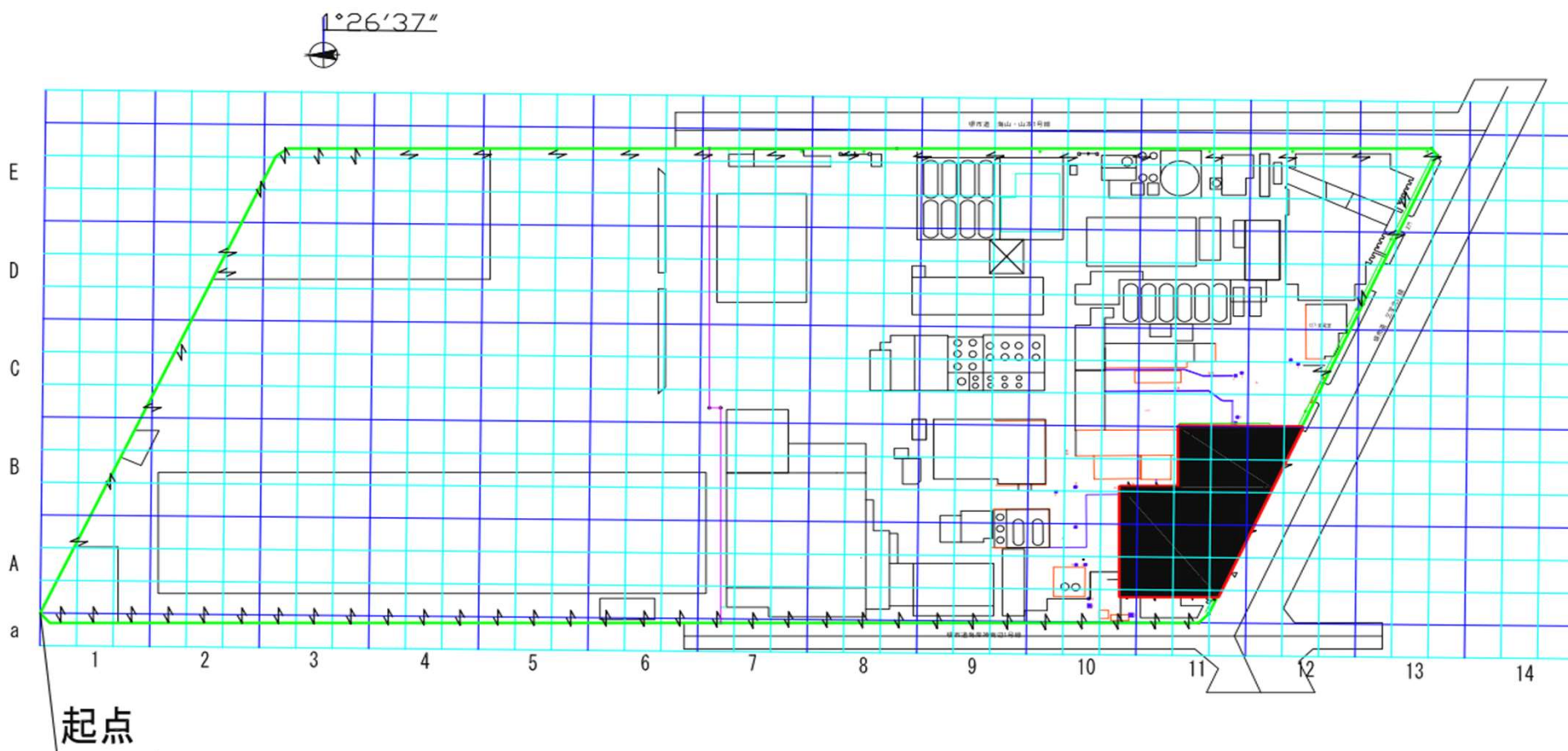
位置図



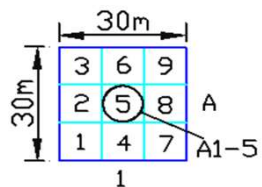
 敷地範囲


 土壌調査実施区域


形質変更時要届出区域図




【凡例】





 30m格子 (900m²)

 単位区画 (100m²)

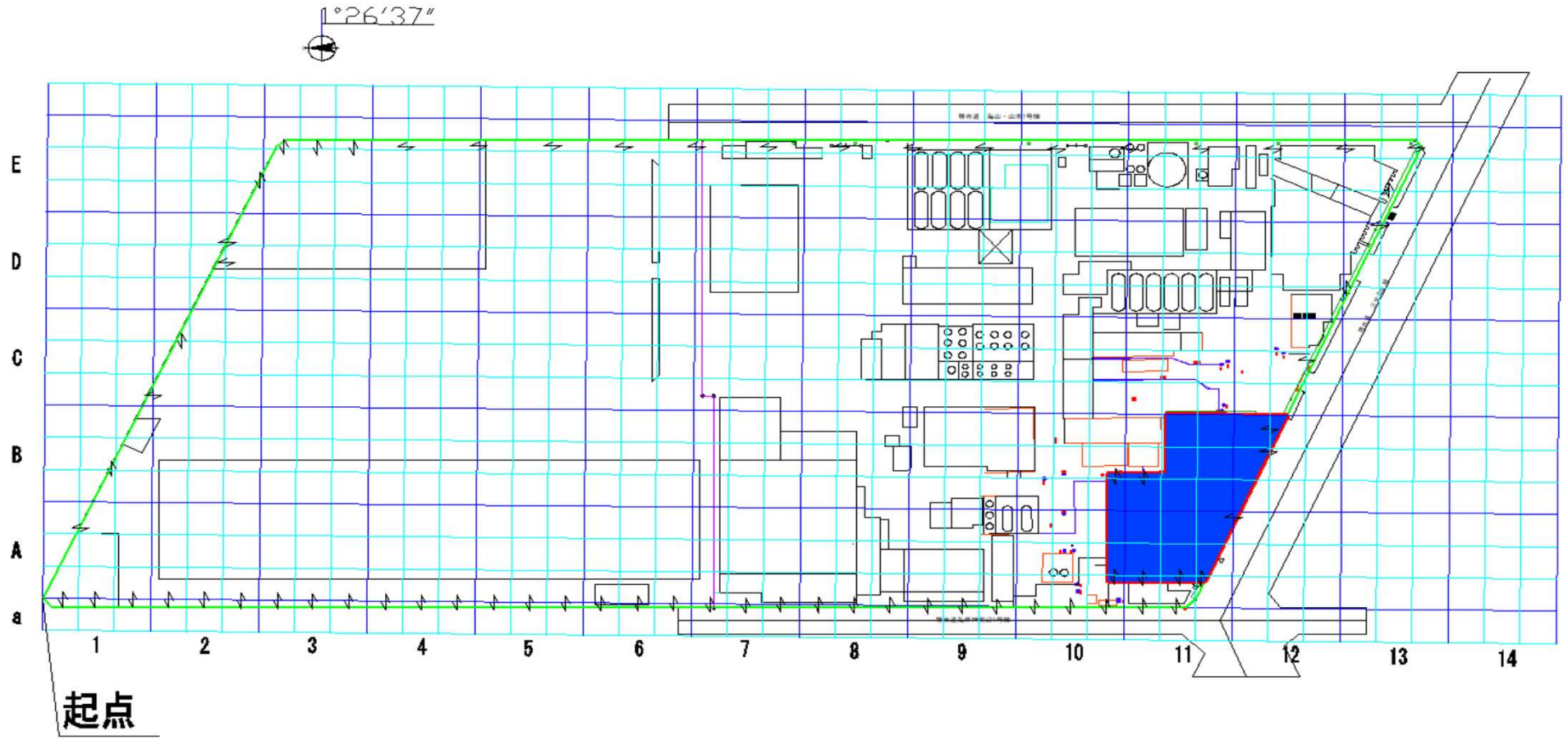
 統合

 敷地範囲

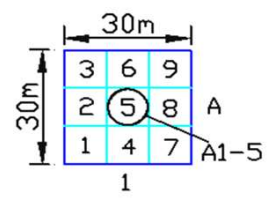
 調査対象地 (形質変更範囲)

 形質変更時要届出区域

フッ素及びその化合物 溶出量基準超過区画

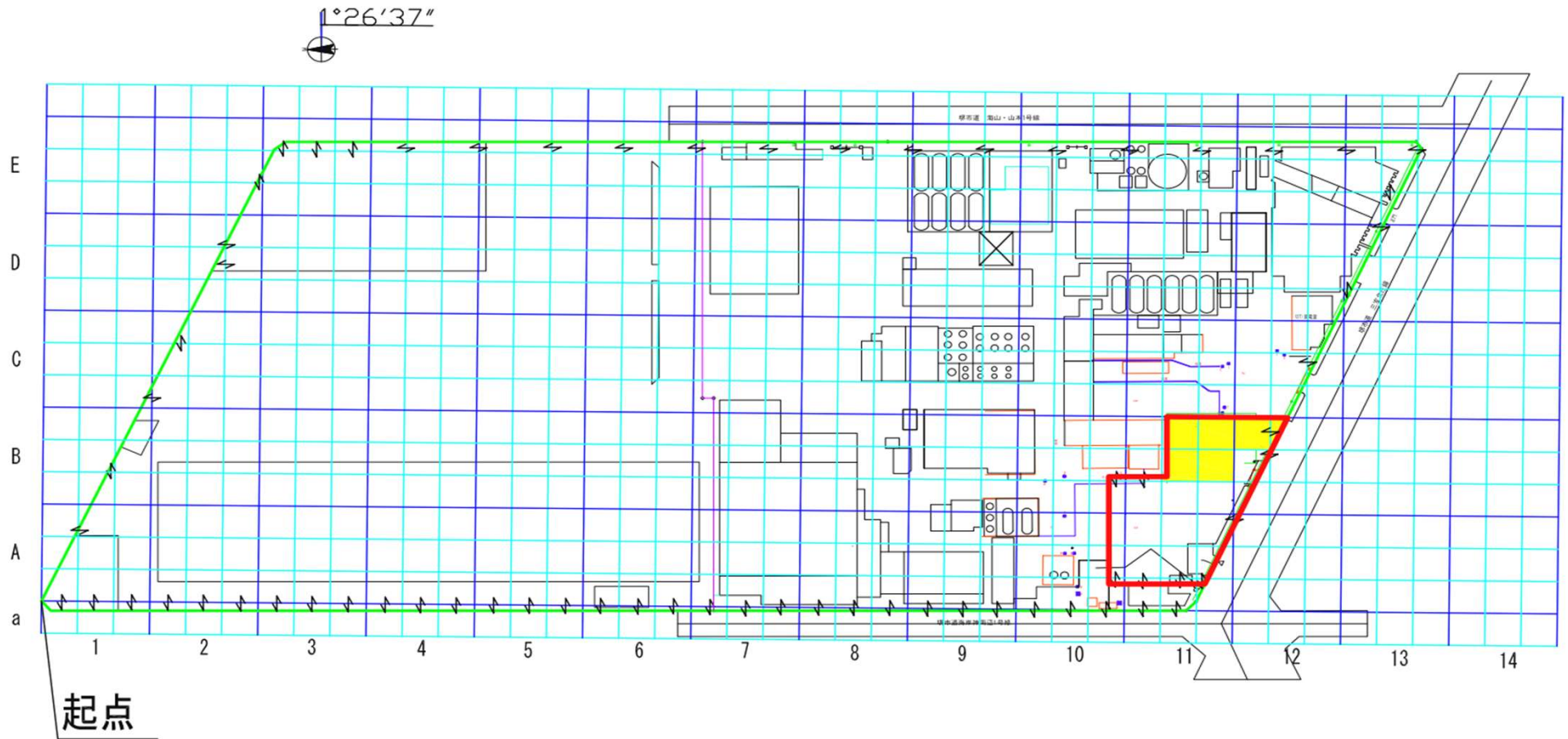


【凡例】

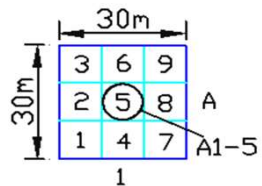



- 30m格子 (900m²)
- 敷地範囲
- 単位区画 (100m²)
- 調査対象地 (形質変更範囲)
- 統合
- 第二溶出量基準値超過区画


フッ素及びその化合物 溶出量基準超過区画(配管下)




【凡例】





 30m格子 (900m²)

 単位区画 (100m²)

 統合

 敷地範囲

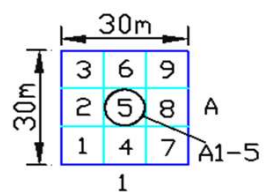
 調査対象地 (形質変更範囲)

 溶出量基準値超過区画

フッ素及びその化合物 溶出量基準超過区画



【凡例】



□ 30m格子 (900m²)

□ 単位区画 (100m²)

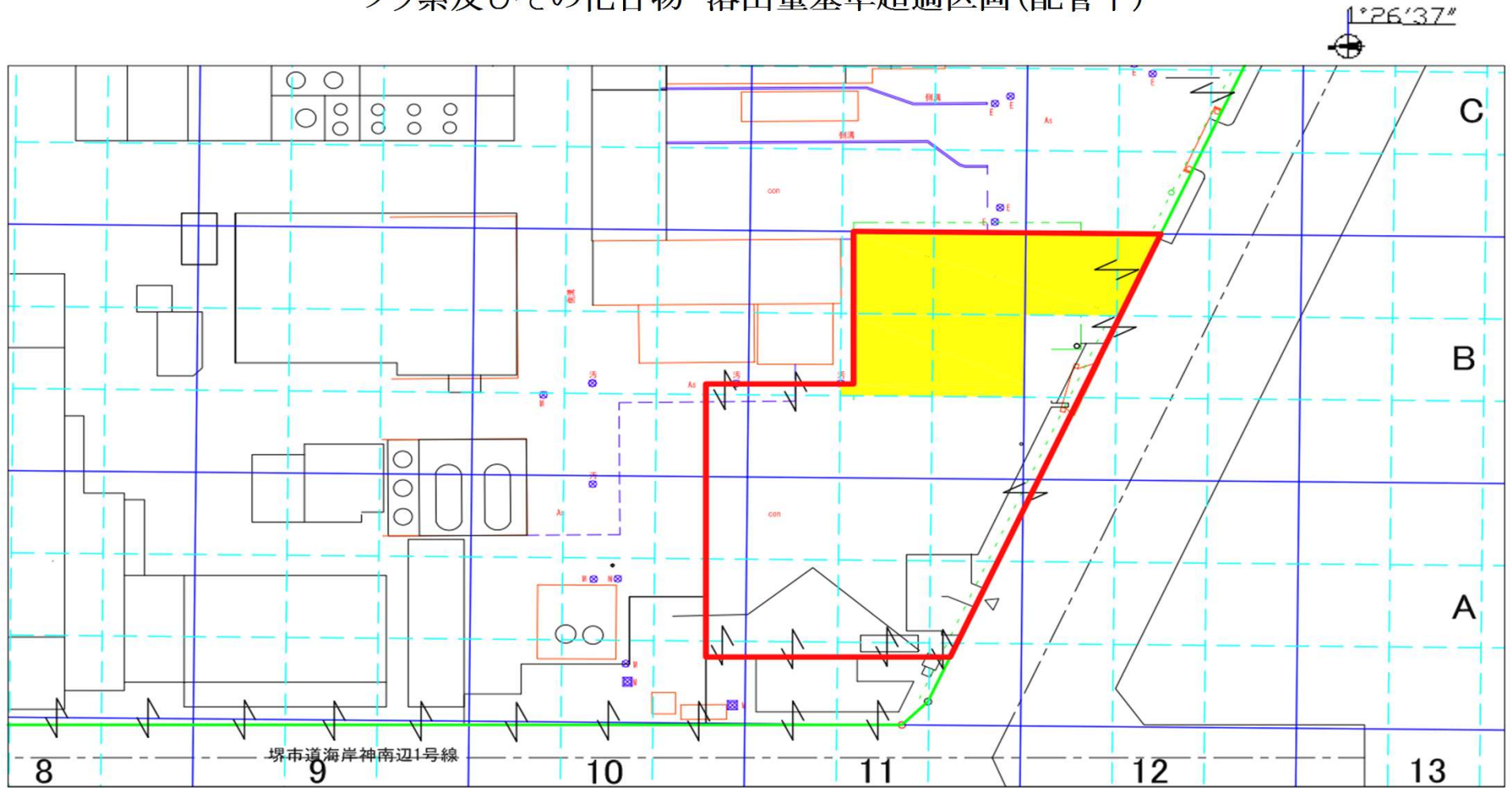
← 統合

□ 敷地範囲

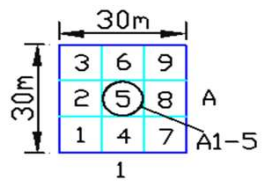
□ 調査対象地 (形質変更範囲)


□ 第二溶出量基準値超過区画


フッ素及びその化合物 溶出量基準超過区画(配管下)




【凡例】




 30m格子 (900m²)

 単位区画 (100m²)

 統合

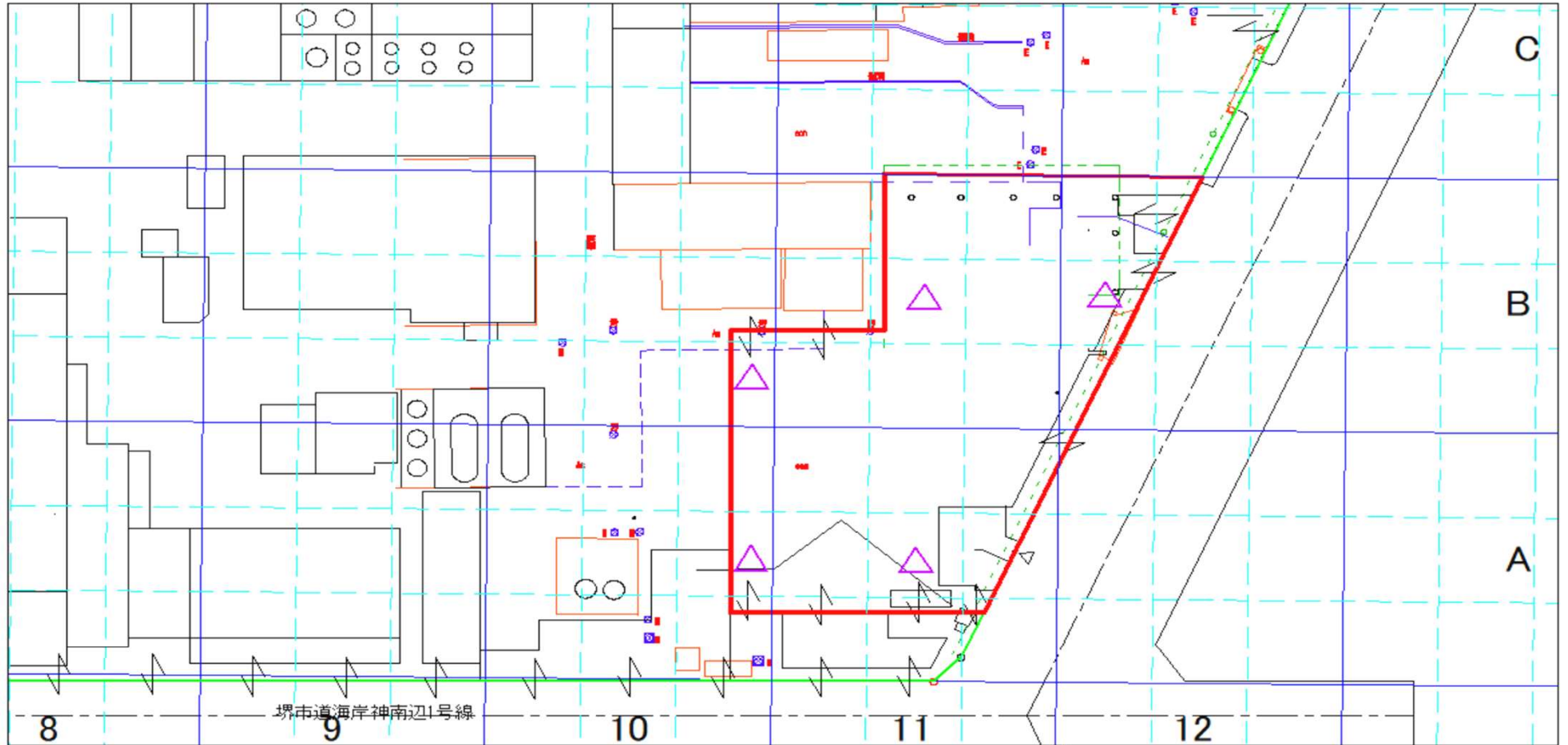
 敷地範囲

 調査対象地 (形質変更範囲)

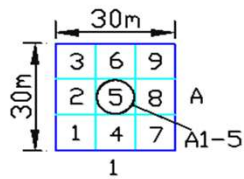
 溶出量基準値超過区画

ベンゼン 調査地点位置図

°26'37"



【凡例】

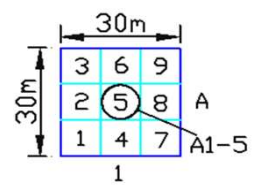
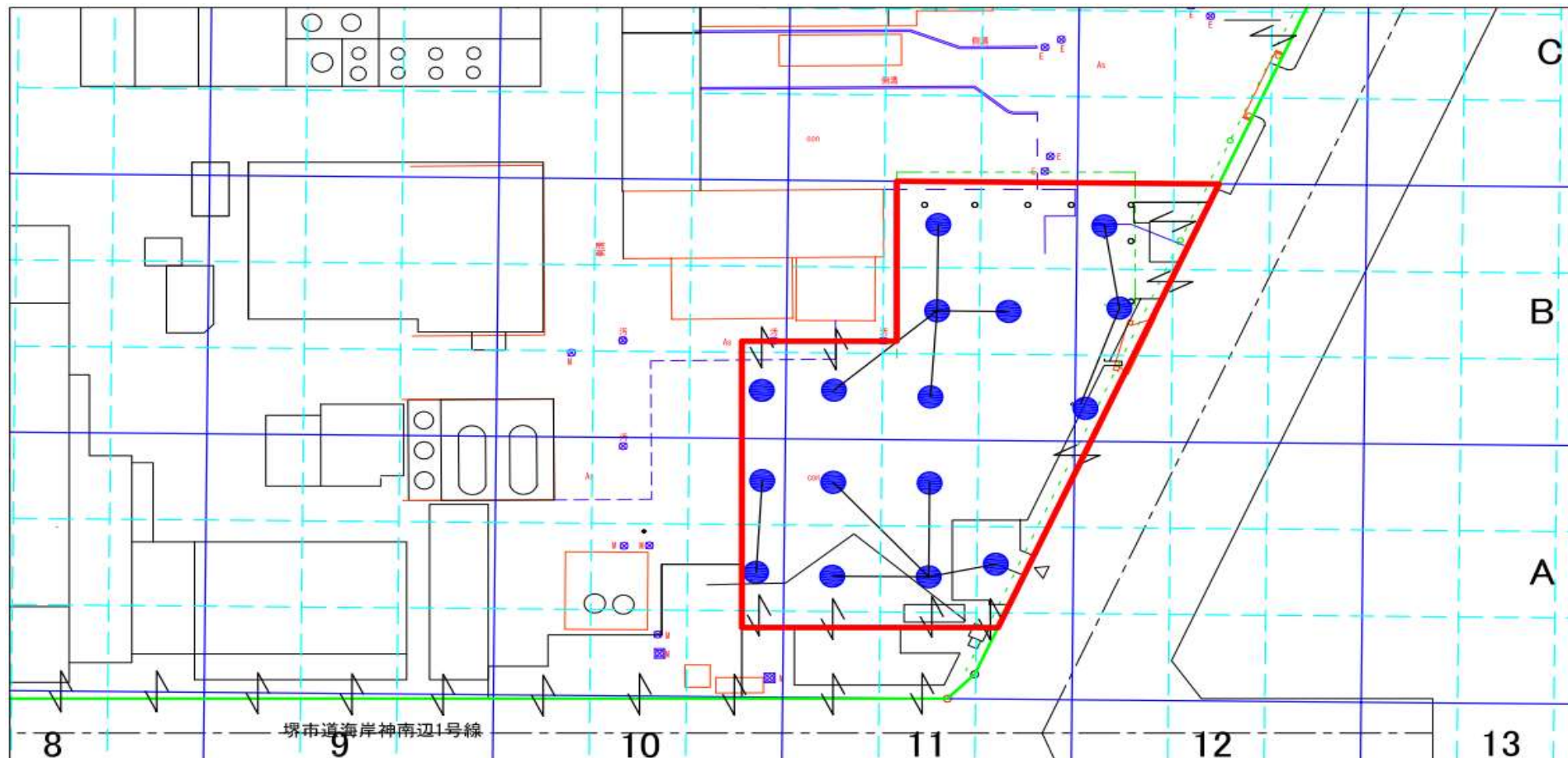


- 30m格子 (900m²)
- 敷地範囲
- 単位区画 (100m²)
- 土壌調査範囲
- 土壌ガス採取地点
- 統合



カドミウム・六価クロム・水銀・セレン・砒素・PCB 調査地点位置図

°26'37"



【凡例】

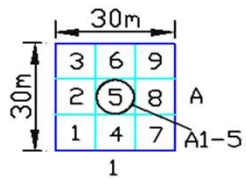
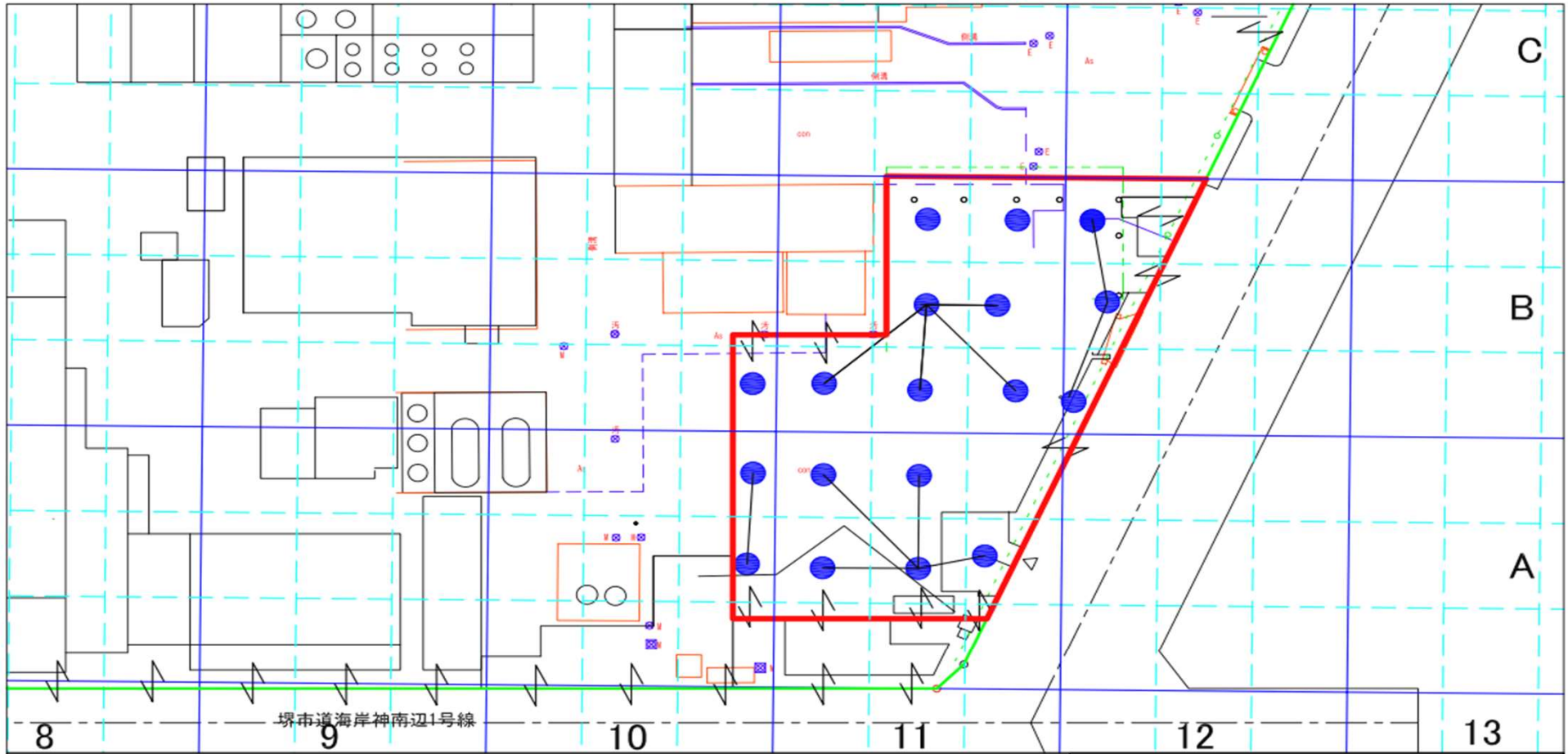
- 30m格子 (900m²)
- 単位区画 (100m²)
- 統合

- 敷地範囲
- 土壌調査範囲
- 土壌採取地点
- 混合










鉛・ホウ素・フッ素 調査地点位置図

°26'37"



【凡例】

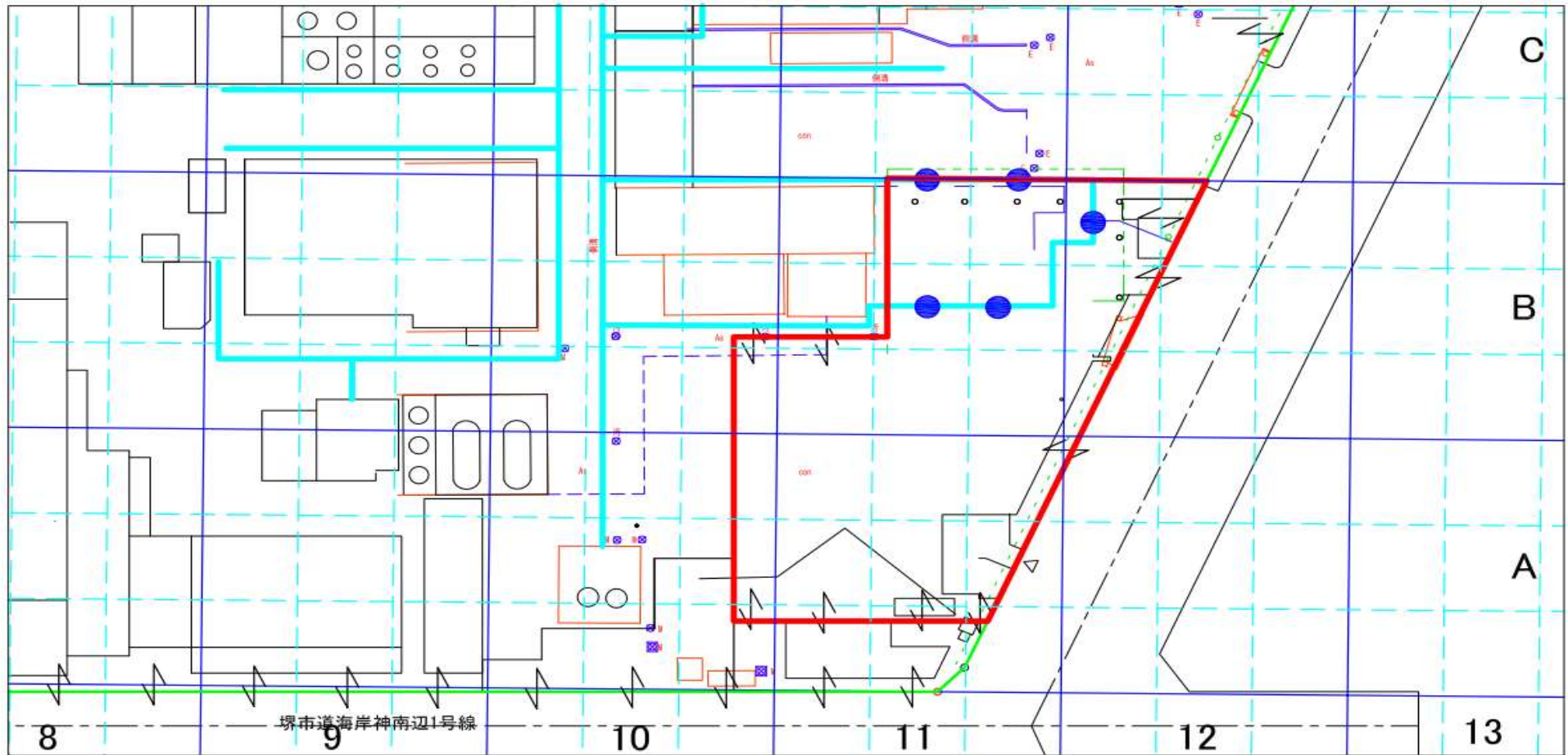
-  30m格子 (900m²)
-  単位区画 (100m²)
-  統合

-  敷地範囲
-  土壌調査範囲
-  土壌採取地点
-  混合

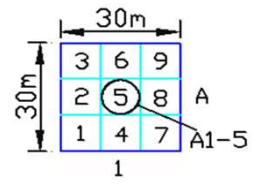


鉛・ホウ素・フッ素 調査地点位置図(配管下)

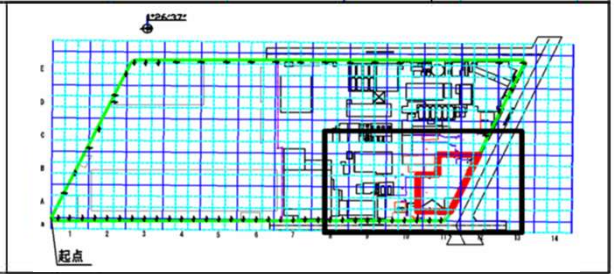
°26'37"



【凡例】



- 30m格子 (900m²)
- 単位区画 (100m²)
- 統合
- 敷地範囲
- 土壌調査範囲
- 土壌採取地点



土壌ガス分析

分類	項目	単位	30m格子					判定基準	定量 下限値
			A10	A11	B10	B11	B12		
			調査地点						
			A10-8	A11-5	B10-7	B11-5	B12-2		
第一種 特定有害物質	ベンゼン	vol ppm	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	検出されないこと	0.05

第二種及び第三種特定有害物質 土壌溶出量(おそれの生じた位置:現況地表面)

分類	項目	単位	調査地点名								基準値	定量 下限値
			A10	A11	B10	B11		B12	B11-6	B11-9		
			採取地点名									
			A10-8, A10-9	A11-2,A11-3, A11-5,A11-6, A11-8	B10-7	B11-1,B11-4, B11-5, B11-6-1, B11-8	B11-1,B11-4, B11-5,B11-7, B11-8	B12-1, B12-2, B12-3	B11-6-1	B11-9-1		
第二種 特定有害物質	カドミウム及びその化合物	mg/L	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	—	0.001 未満	—	—	0.003 以下	0.001
	六価クロム化合物	mg/L	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	—	0.01 未満	—	—	0.05 以下	0.01
	水銀及びその化合物	mg/L	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	—	0.0005 未満	—	—	0.0005 以下	0.0005
	セレン及びその化合物	mg/L	0.002	0.003	0.001 未満	0.001 未満	—	0.001 未満	—	—	0.01 以下	0.001
	砒素及びその化合物	mg/L	0.001	0.001 未満	0.001	0.001 未満	—	0.001 未満	—	—	0.01 以下	0.001
	鉛及びその化合物	mg/L	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	—	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001	0.01 以下	0.001
	ふっ素及びその化合物	mg/L	<u>2.7</u>	<u>1.7</u>	<u>3.7</u>	—	<u>5.1</u>	<u>8.1</u>	<u>2.7</u>	<u>12</u>	0.8 以下	0.1
	ほう素及びその化合物	mg/L	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	—	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	1 以下	0.1
第三種 特定有害物質	ポリ塩化ビフェニル(PCB)	mg/L	不検出	不検出	不検出	不検出	—	不検出	—	—	検出されないこと	0.0005

斜線 : 基準値超過を示す。

第二種特定有害物質 土壌含有量(おそれの生じた位置:現況地表面)

分類	項目	単位	調査地点名								基準値	定量 下限値
			A10	A11	B10	B11	B11	B12	B11-6	B11-9		
			採取地点名									
			A10-8,A10-9	A11-2,A11-3, A11-5,A11-6, A11-8	B10-7	B11-1,B11-4, B11-5, B11-6-1, B11-8	B11-1,B11-4, B11-5,B11-7, B11-8	B12-1, B12-2, B12-3	B11-6-1	B11-9-1		
第二種 特定 有害 物質	カドミウム及びその化合物	mg/kg	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満	—	1 未満	—	—	45 以下	1
	六価クロム化合物	mg/kg	20 未満	20 未満	20 未満	20 未満	—	20 未満	—	—	250 以下	20
	水銀及びその化合物	mg/kg	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満	—	1 未満	—	—	15 以下	1
	セレン及びその化合物	mg/kg	10 未満	10 未満	10 未満	10 未満	—	10 未満	—	—	150 以下	10
	砒素及びその化合物	mg/kg	10 未満	10 未満	10 未満	10 未満	—	10 未満	—	—	150 以下	10
	鉛及びその化合物	mg/kg	26	34	10 未満	—	21	28	16	32	150 以下	10
	ふっ素及びその化合物	mg/kg	2200	1500	2800	—	2200	670	2000	2400	4000 以下	50
	ほう素及びその化合物	mg/kg	50 未満	50 未満	50 未満	—	50 未満	50 未満	50 未満	50 未満	4000 以下	50

第二種特定有害物質 土壌溶出量(おそれの生じた位置:配管下)

分類	項目	単位	調査地点名					基準値	定量 下限値
			B11-5	B11-6-2	B11-8	B11-9-2	B12-3		
第二種 特定有害物質	鉛及びその化合物	mg/L	0.001 未満	0.001 未満	0.003	0.001 未満	0.001 未満	0.01 以下	0.001
	ふっ素及びその化合物	mg/L	<u>4.2</u>	<u>1.5</u>	<u>8.2</u>	<u>1.9</u>	<u>5.6</u>	0.8 以下	0.1
	ほう素及びその化合物	mg/L	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	1 以下	0.1

斜線 : 基準値超過を示す。

第二種特定有害物質 土壌含有量(おそれの生じた位置:配管下)

分類	項目	単位	調査地点名					基準値	定量 下限値
			B11-5	B11-6-2	B11-8	B11-9-2	B12-3		
第二種 特定有害物質	鉛及びその化合物	mg/kg	10 未満	10 未満	42	10	10	150 以下	10
	ふっ素及びその化合物	mg/kg	2600	840	3700	960	320	4000 以下	50
	ほう素及びその化合物	mg/kg	50 未満	50 未満	50 未満	50 未満	50 未満	4000 以下	50

各区画の汚染状況一覧(おそれの生じた位置:現況地表面)

30m 格子	単区画	面積 (㎡)	区画の 統合先	基準不適合 面積(㎡)	汚染物質	汚染状況の 区別	調査省略の 有無	みなし指定の 有無
A10	A10-7	8.3	A10-8	8.3	フッ素及びその化合物	第二溶出量超過	有	—
	A10-8	43.8	—	43.8	フッ素及びその化合物	第二溶出量超過	有	—
	A10-9	44.8	—	44.8	フッ素及びその化合物	第二溶出量超過	有	—
A11	A11-1	18.4	A11-2	18.4	フッ素及びその化合物	第二溶出量超過	有	—
	A11-2	100.0	—	100.0	フッ素及びその化合物	第二溶出量超過	有	—
	A11-3	100.0	—	100.0	フッ素及びその化合物	第二溶出量超過	有	—
	A11-4	17.4	A11-5	17.4	フッ素及びその化合物	第二溶出量超過	有	—
	A11-5	100.0	—	100.0	フッ素及びその化合物	第二溶出量超過	有	—
	A11-6	100.0	—	100.0	フッ素及びその化合物	第二溶出量超過	有	—
	A11-7	4.5	A11-8	4.5	フッ素及びその化合物	第二溶出量超過	有	—
	A11-8	51.6	—	51.6	フッ素及びその化合物	第二溶出量超過	有	—
	A11-9	91.8	—	91.8	フッ素及びその化合物	第二溶出量超過	有	—
A12	A12-3	3.2	A11-9	3.2	フッ素及びその化合物	第二溶出量超過	有	—
B10	B10-7	45.7	—	45.7	フッ素及びその化合物	第二溶出量超過	—	有
	B10-8	6.0	B10-7	6.0	フッ素及びその化合物	第二溶出量超過	—	有
B11	B11-1	100.0	—	100.0	フッ素及びその化合物	第二溶出量超過	有	—
	B11-2	13.8	B11-1	13.8	フッ素及びその化合物	第二溶出量超過	有	—
	B11-4	100.0	—	100.0	フッ素及びその化合物	第二溶出量超過	有	—
	B11-5	88.0	—	88.0	フッ素及びその化合物	第二溶出量超過	有	—
	B11-6	86.9	—	86.9	フッ素及びその化合物	第二溶出量超過	—	有
	B11-7	100.0	—	100.0	フッ素及びその化合物	第二溶出量超過	有	—
	B11-8	100.0	—	100.0	フッ素及びその化合物	第二溶出量超過	有	—
	B11-9	100.0	—	100.0	フッ素及びその化合物	第二溶出量超過	—	有
B12	B12-1	38.4	—	38.4	フッ素及びその化合物	第二溶出量超過	有	—
	B12-2	81.6	—	81.6	フッ素及びその化合物	第二溶出量超過	有	—
	B12-3	100.0	—	100.0	フッ素及びその化合物	第二溶出量超過	有	—
	B12-5	0.1	B12-2	0.1	フッ素及びその化合物	第二溶出量超過	有	—
	B12-6	25.1	B12-3	25.1	フッ素及びその化合物	第二溶出量超過	有	—
合計		1669.4		1669.4	—	—	—	—

各区画の汚染状況一覧(おそれの生じた位置:配管下)

30m 格子	単区画	面積 (㎡)	区画の 統合先	基準不適合 面積(㎡)	汚染物質	汚染状況の 区別	調査省略の 有無	みなし指定の 有無
A10	A10-7	8.3	A10-8	—	—	—	—	—
	A10-8	43.8	—	—	—	—	—	—
	A10-9	44.8	—	—	—	—	—	—
A11	A11-1	18.4	A11-2	—	—	—	—	—
	A11-2	100.0	—	—	—	—	—	—
	A11-3	100.0	—	—	—	—	—	—
	A11-4	17.4	A11-5	—	—	—	—	—
	A11-5	100.0	—	—	—	—	—	—
	A11-6	100.0	—	—	—	—	—	—
	A11-7	4.5	A11-8	—	—	—	—	—
	A11-8	51.6	—	—	—	—	—	—
A12	A12-3	3.2	A11-9	—	—	—	—	—
B10	B10-7	45.7	—	—	—	—	—	—
	B10-8	6.0	B10-7	—	—	—	—	—
B11	B11-1	100.0	—	—	—	—	—	—
	B11-2	13.8	B11-1	—	—	—	—	—
	B11-4	100.0	—	—	—	—	—	—
	B11-5	88.0	—	88.0	フッ素及びその化合物	溶出量超過	—	—
	B11-6	86.9	—	86.9	フッ素及びその化合物	溶出量超過	—	—
	B11-7	100.0	—	—	—	—	—	—
	B11-8	100.0	—	100.0	フッ素及びその化合物	溶出量超過	—	—
	B11-9	100.0	—	100.0	フッ素及びその化合物	溶出量超過	—	—
B12	B12-1	38.4	—	—	—	—	—	—
	B12-2	81.6	—	—	—	—	—	—
	B12-3	100.0	—	100.0	フッ素及びその化合物	溶出量超過	—	—
	B12-5	0.1	B12-2	—	—	—	—	—
	B12-6	25.1	B12-3	—	—	—	—	—
合計		1669.4		474.9	—	—	—	—